

# デバイス初期設定マニュアル

以下の作業は、鍵を取付け後に必ず行ってください

## ① Wi-Fi 設定    ② デバイスの初期設定

Wi-Fi設定がすぐにできる場合は、Wi-Fi設定をはじめに行ってください。Wi-Fi設定がすぐにできない場合は、デバイス設定のみ行い、後日Wi-Fi設定を行ってください。

## ① デバイスの初期設定ガイド

本商品 (RemoteLock 5i) の取付け後には、お客様のセキュリティのため、キーパッドから必ず以下1~4の操作を行って下さい。

### 操作に必要な単語を以下に説明します

※プログラミングコード:初期プログラミングコードは「123456」です。プログラミングコードの長さは4桁から10桁で、自由に設定出来ます。キーパッドからの操作(ローカルPINの作成やオートロック設定など)に毎回必要な番号になります。

※ローカルPIN:プログラミングコードを利用して設定する解錠コードのことです。最大10個まで登録でき、「1234」が初期登録されています。ローカルPINの長さは4桁から10桁で設定出来ます。

## ① ドアの「解錠」状態(ロック解除状態)を認識させる

※工事業者に取付けを依頼した場合は、実施不要です(工事業者が行っています)

※必ずロックが解除されている状態(デッドボルトが引っ込んでいる状態)で実行してください

プログラミングコード(123456)入力 → **LOCKSTATE** → 140 → **LOCKSTATE**

## ② プログラミングコードの変更

初期(設定されている)プログラミングコード(123456)を変更してください。変更しないと他人に不正にロック解除される恐れがあります。

プログラミングコード(変更前)入力 → **LOCKSTATE** → 100 → **LOCKSTATE**  
→ プログラミングコード(変更後)入力 → **LOCKSTATE**

### 3 ローカルPINの追加

ドアのロック解除ができるPINを作成して、ドアが開くことを確認してください。

<ローカルPINの作成>

プログラミングコード(変更後)入力 →  → 110 →   
→ 新しいローカルPIN(1234以外)入力 →

<作成したローカルPINの動作確認>

- ① ドアをロック状態にする () を2回押して下さい
- ② 新しいローカルPIN入力 →
- ③ ドアのロックが解除できることを確認

### 4 ローカルPINの削除

初期設定されているローカルPIN(1234)を削除してください。削除しないと他人に不正にロック解除される恐れがあります。

プログラミングコード(変更後)入力 →  → 120 →   
→ 削除したいローカルPIN(1234)入力 →

※Wi-Fi接続を行い、デバイス管理クラウドシステム「LockState Connect」を既にお使いになっている方は、上記設定が反映されていることをご確認ください。

※後日「LockState Connect」の利用を開始される方は、デバイス追加後に上記設定が反映されていることをご確認ください。確認方法は、以下LockState Connect初期設定の手順のURLをご参照ください。もし反映されていない場合は、お手数ですが、上記②～④を再度実行してください。

#### Wi-Fi設定とデバイスの初期設定が完了したら

<https://connect.lockstate.jp>

にアクセスしログインして下さい。

(アカウントをお持ちでない方は、アカウントを作成して下さい)

※推奨ブラウザはGoogle Chromeとなっています。

※スマートフォンからのご利用は一部画面の表示等に乱れが出る場合がございます。

LockState Connect初期設定の手順は、以下URLをご参照ください。

■ LockState Connect初期設定の手順

[https://help.lockstate.jp/process\\_manual.html](https://help.lockstate.jp/process_manual.html)

